

埼玉県議会議員

# 浅井 明

## 受信



浅井 FB

## 発信

- 総務県民委員会委員 ■ 危機管理・大規模災害対策特別委員会委員
- 青少年健全育成委員会委員 ◆ 自民党埼玉県連越谷支部長
- 浅井明県政事務所 〒343-0813 越谷市越ヶ谷2-8-24 森田ビル2F(201号)  
Tel.048-940-5193 fax048-940-5195 メールアドレス:info@asaiakirajp



新年辻立 R5 元旦

● 昨年の広報誌の年頭ご挨拶がコロナ感染症の話題で始まりました。覚えていらっしゃる方もおいでと思います。その中でコロナウイルスがオミクロン株に置き換わり、従来のデルタ株より重篤な症状は出にくいですが感染力が強く、一度罹患した人やワクチン接種者の方そして幼児にも感染し易いとする専門家の意見をご紹介しましたが正にその通りの展開になりました。

● 2021年には感染者数も低い数値で落ち着いていたものが夏季の人出の影響か22年の7月頃から上がり始め11月には第8波に突入したと云われております。幸い、オミクロン株対応のワクチン接種や服用の国産治療薬が開発され承認、既に医療機関に配布され効果を期待されております。

● 私事で恐縮ですが、昨年、私もコロナ感染症に不覚にも罹患してしまいました。9月17日夜、何となく悪寒を感じ、体全体がだるい。咽喉の痛みはないが体温を計ると37.7° 平熱より高い状態でコロナ感染を疑う。解熱剤を服用。9月18日は日曜日、熱は36.6° に下がるが越谷保健所に電話、休日のため、留守電アナウンスが流れるのみ。安静に過ごす。翌19日は敬老の日で祝日、県のコロナ感染症サポートセンターに電話、市内の個人病院を紹介され、電話するがPCでの予約のみとの対応でした。コロナ検査キットで 自主検査、私は陽性。家族は陰性の結果。20日早朝、熱が再び上がり救急車を要請。救急で受入病院を探して頂く、1時間後、熊谷の埼玉県立循環器呼吸病センターがヒット、即搬送、同日午前10時頃に入院できました。その後、治療を重ね、お陰様で重篤になることもなく28日に無事に退院。帰宅途中、加須市の鰻屋に立ち寄り、うな重を完食す、健康の有難さを実感し、そして三たびのチャレンジに勇氣凜凜！！



清掃にも防護服！



埼玉県立循環器呼吸病センター

● 入院中は完全隔離、面会謝絶、隔離病棟から出られず着替えや差入れが直接受け取れず淋しい思いをしましたが、この体験を通して医師や医療従事者の皆さまの未だ本質が解明されていないコロナ感染症の困難な治療に対する惜しみない果敢な取組みを目の当たりにして感謝だけでは言い表せない深い思いを抱いております。

### Contents

- ご挨拶 (コロナ感染症体験) ■ 定例会報告 ■ 浦和・野田線 ■ トピックス

■ 定例会報告 令和4年6月29日 一般質問6項目 | 3問

1, 知事公約の「LGBTQ」について

- (1) LGBTQ 支援公約の進め方について
- (2) 教育現場におけるLGBTQ の取り上げ方について

2, 太陽光パネルについて

- (1) 埼玉県における太陽光パネルの廃棄・リサイクルについて
- (2) 事業用太陽光パネルの廃棄処理の今後について
- (3) 新技術の開発・取り組みについて

3, 埼玉県の米作政策について(※別紙お米編にて報告)

- (1) 世界から注目される米粉について
- (2) 主食用米から米粉など加工用米への転換と生産拡大について
- (3) 加工、流通と一体となった生産について

4, こども家庭庁について

- (1) これまでの県の取り組みについて
- (2) 今後の取り組みについて

5, 所沢航空発祥記念館について

- (1) 日本初の陸軍飛行場と陸軍航空学校の歴史を踏まえた記念館に
- (2) 航空発祥記念館でも積極的に平和教育を

6, 都市計画道路越谷市役所通り線の事業化について



議会中継アクセス

●この定例会でLGBTQ：性の多様性を尊重した社会づくりの取り組みを推奨する条例案が自民党から議員提出され、賛成多数で可決しました。LGBTQとは「L」はレスビアン「G」はゲイ「B」はバイセクシャル「T」はトランスジェンダー「Q」はクエスチョンで多様性の「性的指向」「性自認」に関するマイノリティの方々を支援して行こうという動きです。この機運が世界的に広まって県議会からも条例が議員提出されたところですが、私、浅井はこの条例は時期尚早であると決議には退席（自民党県議退席者9人）しました。もちろん、マイノリティの方々の支援は必要です。しかし、この問題の本質は未だ確立されておらず有識者からも多くの異論が提言されております。この状態で条例化することは県民及び事業者に債務が生じ、混乱や逆差別などが生じる恐れがあります。条例先進地からも多数の問題が報告されています。

●知事公約ではこの問題を小中の教育現場にも取り上げていく意向です。現在欧米各国から数十年遅れていると言われる性教育で教師の皆さんの間で混乱と戸惑いがある中、更に混乱に拍車がかかるのではと危惧しております。どの様な教育方法で子供たちに正しく伝えることが出来るのでしょうか。知事は令和3年度にリーフレットを作成しそれぞれの性のあり方の多様性を尊重し大切にすることを学べるようにし、教員が適切に指導できるように教員用資料も作成したと答弁しました。正に準備万端とのお答えですが「言うは易く行うは難し」と云う格言があるように特に「性」に関する問題は心の琴線に触れ、また個人情報や人権の侵害が発生しやすく細心さと丁寧さが求められます。興味本位で捉えられネット社会で拡散し重大な結末を引き起こす例は枚挙の暇もありません。この問題は多くの要素が含まれ慎重さが求められます。

■ 越谷都市計画道路 浦和・野田線事業認可で胎動！



大野知事に早期着工と予算付けを直接交渉！

● 埼玉県と千葉県を結ぶ広域幹線道路で物流の大動脈として完成が待ち望まれる浦和・野田線。市内の未着工部分が事業認可となり動きだしました。国道463の神明町北交差点から接続し、元荒川を新橋梁で渡り、左岸土手沿いに東武線をくぐり、大野島・越谷線に接続する1,333mの区間となり幅員は標準で25m、最大43mの道路です。

● 11月18日に告示、今後地域の方々から頂いている各種課題について、意見交換を行いながら、用地測量とともに道路構造等を決定します。

● 初期には河川内を通るルートであったものが令和4年に変更案が可決され、左岸平面ルートになり、新たな植樹

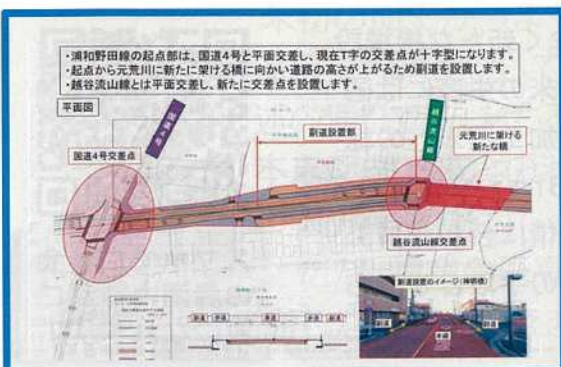
も加えられ、市民に親しまれた桜土手の景観も壊すことが無いよう配慮します。

● 道路工事とともに河川土手の補強工事も行い激甚化する水害に備えます。また、工事に併せて出津橋の架け替えや接続する交差点周辺の整備も行います。

● 越谷市内は東西を接続する道路が少なく、朝夕の通勤ラッシュ時は、100m進むのに7～8分かかると云われ通過車両が市内に滞留する結果になります。この状況は解消されるでしょう。

● 完成予定は令和14年とお聞きしております。用地測量が始まり、地権者の方にはご面倒・ご迷惑をお掛け致しますがよろしくご配慮の程お願いいたします。

○ 令和4年7月に変更案が都市計画審議会でも可決され、8月5日に告示。  
(河川内を通るルートから左岸平面ルートに変更。)



● 越谷市計画道路  
3-3-3号元荒川工区  
設計の概要

あなたと(市)↔(県)↔(国)をつなぐ

埼玉県議会議員

# 浅井明

## 受信 発信



米粉編

R5, 1



■ 浅井明県政事務所 〒343-0813 越谷市越ヶ谷2-8-24 森田ビル2F(201号)  
Tel.048-940-5193 fax048-940-5195 メールアドレス: info@asaiakira.jp

● 米粉から乳製品であるチーズが製造され、日本は下より動物性食品を忌避する世界の方々にとっても朗報となっています。最近、米粉から沢山の米粉食品が続々と開発され外国から輸出食品として期待が持たれています。

日本人の米飯食離れが進み昭和37年度に1人当たり118kgであったものが令和2年度には50.7kgと半分以下に減少、この傾向は更に加速すると云われます。この主食用米の需要減少を補う米粉の特徴を生かした需要拡大を図るため新たな品種改良や製粉技術の開発が必要とされています。

ロシアのウクライナ進攻や北米産小麦の干ばつ等の影響で小麦の需要が世界的に逼迫しており、国際相場が高騰し、米粉自体も輸出商品として注目されています。

日本のノングルテン米粉が世界、特にヨーロッパ各国から注目されて、EU諸国への輸出量は2021年の1月から4月の輸出量は2022年の同時期2.3倍となりました。

この状況を埼玉県として米粉の位置付けをどのように捉え、農業政策とするのかを本年6月の定例会にて農林部長(生産振興課)に質問致しました。その質問と答弁をご報告致します。

(令和4年6月29日 定例会一般質問 一問一答式・一部抜粋・加筆)

● 小麦粉の価格高騰の中、米粉はグルテンフリー食品として海外から注目され輸出商品として期待が高まっています。県内では、大手米粉製造業者が世界最高水準の「ノングルテン米粉認証」を取得し積極的に米粉の輸出に向けた取組を行っており約16トンを実現しています。県として米粉は重要な位置づけを持つと認識しております。

● 新型コロナの影響などもあり外食需要減少や米食離れで主食用米を生産しても「売れない・儲からない」現状で埼玉県の耕作放棄地率は全国で上位と聞いている。主食用米から米粉など加工用米への作付け転換と生産拡大についてどう考えるのか。

● 主食用米からの転換について、コメ作りが変わりなく新たな機械設備の必要がなく取組みやすいと認識し、また、加工用米の生産には国から交付金があり、安定した所得を得られ、県として加工用米への転換を積極的に支援してきました。平成30年度の876haから令和2年度には1,041haに増加しております。県では地域の实情に合わせ加工用米の生産を推進し、コメ農家の経営安定を図るための手段として必要なものと考えています。



スマホで県議会の録画中継がご覧になれます!

● 埼玉県の米作政策について（令和四年六月二十九日定例会）

● 米粉加工米を生産するには、主食用米のように、生産者、精米業者、流通業者、小売業者が様々に入り組んだ状態でなく、作付け生産者・製粉業者・製品加工・流通・販売が一体になった、プラント化した状態が望ましいとされます。

水耕栽培、キノコ栽培等で成功例が多くあり、安定的な運営管理がなされています。一子相伝的な農家経営は難しい時代で、補助金政策だけでは後継者は育たず、離農が益々増えている状況です。加工、流通販売と連携して米粉生産（加工用米作付け）を行うべきと思います。



● 米粉の生産を通じてコメ農家の経営安定を図る上では加工・流通販売と連携することが重要と認識します。県では加工用米の生産拡大を図るため、生産者団体と協力してコメ農家と米粉製造業者とのマッチングを図り、大手米粉業者が保管コストのかからない輸入米から県産米への切り替えが要望されました。このため、県産米を貯蔵する原料サイロや加工用機械の導入支援を行っている。これにより輸入米から県産米への置き換えが進み、米粉製造業者と契約したコメ農家では新たに年間約300トン、面積にして約60ヘクタール分を安定的に買い取って貰う環境が整ったところです。

こうした取組みを通じて、今後とも加工・流通販売と一体となった米粉の生産を支援してまいります。

○埼玉県議会議事録はPC・スマホで検索できます。お問い合わせ 048-830-6250

■コメ農家の皆さまには厳しい風が吹いています。減反政策が2018に終わり、自身の判断で作付け面積を増やし、より所得拡大を目指しブランド米を栽培。有機農法の取り入れなど、様々な戦略や努力を重ねられ軌道に乗られたところに、米飯離れによる主食米の米余り、拍車を掛けたのがコロナ禍による外食消費の落ち込みで米価の低迷が続いています。農家の生き残りとして所得拡大に向け、取組みを再思考されるでしょう。その指針の一つに米粉加工用米の作付け拡大を県では推奨しています。

米粉の加工が今までより進歩し新しい需要を生み出し、小麦粉需要逼迫で代替品として、世界的に注目されているのは前述の通りです。もちろん、主食用米の生産を忘れては本末転倒で米食の消費拡大を忘れてはならない瑞穂の国の神髄です。

ただ、農業の再編成、組織化・法人化はさけて通れない道と考えます。



浅井 明  
Facebook

2009年9月未解決! 小学生死亡ひき逃げ事件  
(平成21年)

情報提供のお願い

犯人は、秘密を抱えて生きていくのは難しいと思います  
きっと誰かに話しをしていると思います



小関孝徳君、当時小学4年

犯人逮捕の為  
情報提供をしてください!

懸賞金 **100万円** (上限)

いつ ▶ 2009年9月30日水曜日  
(平成21年) 午後6時50分頃

どこで ▶ 埼玉県熊谷市本石1-134番地先

状況 ▶ 自転車と車両の事故  
逃走車両は2台の可能性あり



現場の状況

些細なことでも結構です  
●急に引っ越した... ●車を買い替えた...  
●貯金し... 等

- 連絡先
- ①お手紙: 〒360-8799 熊谷市本町2-7 熊谷郵便局 小関代里子宛
  - ②アメーバブログ: 《未解決》熊谷市小4男児死亡ひき逃げ事故
  - ③熊谷警察直通: 048-526-0110

●埼玉県自民党県議団では社会問題を取り上げ、政治に携わる者として共通の認識を持ってどのような解決策を政策として構築できるか検証するため、勉強会を開講しています。

●R4,12/5 に開講された勉強会では'09年のひき逃げ死亡事故で10歳の息子さんを亡くされたお母さん小関代里子さんをお講師にお迎えしました。

●小関さんは自ら懸賞金をかけて情報を収集すると共にひき逃げ死亡事故の時効撤廃を願って活動しています。法務省には既に9万人分の署名を提出。県議会も'22年3月に死亡ひき逃げ事件の時効撤廃趣旨の意見書を全会一致で可決しました。

●今回、お話を直接お伺いし今後、県議団のメンバーとしてどのような活動が必要か私も考えたい。

●この事故(事件)は'09年9月30日小学4年生の孝徳君が熊谷市の路上でひき逃げされ死亡した。現場の状況から2台の車に相次いでひき逃げされた様だ。小関さんは訴える、最初の車が救護にあたっていたら死亡事故にならなかったのではと悔

やむ。2台とも救護にあたることなく逃走した。車の破片やブレーキ痕が見つからず捜査は難航。

●小関さんは事件の情報を求めて街頭でチラシの配布や SNS で呼びかけている。事件は未解決のまま'16年には道交法の救護措置義務違反(ひき逃げ)の公訴時効7年が成立。自動車運転過失致死罪の時効でも10年。小関さんは「犯人が逃げているのに、なぜ過失と断定できるのか」「被害者が死んでもかまわないという未必の故意」と激しく訴えて危険運転致死罪(時効20年)の適用を署名簿を添えて求めた。県警察も危険運転致死容疑に切り替え捜査を続行している。

●危険運転致死罪でも時効は20年で'29年には公訴時効を迎える。殺人事件の時効(25年)は'10年4月に施行した改正刑事訴訟法で撤廃された。これは被害者遺族の「家族が殺されたのに一定の期間が経過したから犯人が無罪放免になるのは納得できない」という感情や、国民の間で時間の経過によって犯人が処罰されないのは不当であるとの意識が広く共有されて法整備がなされたと聞いております。

●小関さんは「死亡ひき逃げ事件は時効を撤廃することで、逃げられないという認識を持ってもらい、事故を起こしたら負傷者の救護をするのは原則。逃げ切る法律は必要か」と、これからも公訴時効撤廃を訴える活動を続けるとともに事件の真相を究明するための情報提供を広く呼びかけている。

●有識者も「交通犯罪の法体系も変わったいま、再度見直す時期で救護義務違反や過失致死傷罪の量刑判断をより厳しくすることを検討する必要がある」と提言。



## ■ 越谷警察署新庁舎建設及び警察官増員

●越谷警察署新庁舎建設のため移転先のプレハブ仮庁舎の建設が既に始まっております。プレハブ仮庁舎の完成に合わせて引っ越しを開始。現庁舎の解体工事、本年12月に新庁舎の着工というプロセスになります。仮庁舎は東越谷7丁目11番。開発面積 3301.06 m<sup>2</sup> 建築面積 1566.09 m<sup>2</sup>。高さ 8.333m。2階建て3棟と平屋4棟（駐車場）。新庁舎移転までは仮庁舎でご不便をおかけしますがご容赦下さい。

●昨年の受信・発信新春号でもお伝えしましたが、平成30年6月と令和元年6月の2回に亘り、越谷警察署庁舎の古さ、狭あい化の解消を定例会で切実に訴えてまいりました。

●当時の富田邦敬本部長から越谷警察署の庁舎改築について優先すべき課題として検討するとの答弁をいただきこの度の新庁舎建設に繋がったと自負しております。



仮庁舎建設現場 (R4. 12 撮影)



●この定例会において安心安全へ警察官の増員について質問をしております。警察官一人でカバーする人数が埼玉県では634人。なんと東京都 313 人の 2 倍です。全国平均の487人を上回りワースト第1位が 10 年連続しています。(2018/6) その中で越谷警察署の警察官負担率は 1.005 人で埼玉県でもトップクラス、人口も増加、管内刑法犯認知件数も増加の傾向で負担率が益々高くなります。

●H13年度から H29年度にかけて全国最多の2895人の増員があり、県の刑法犯認知件数は6割減少したと云われるが警察官の各種負担率は全国を大きく上回っているのは事実であり県としても警察官の増員は依然必要であり機会を通じ働きかけているが国の財政状況を考えると増員は厳しいとの答弁が県警本部長からありました。

●その中で採用募集の強化、サイバー分野等専門性の高い人材の採用、女性職員の活躍促進、教育訓練の充実による個々の能力の向上等の人材の多様化等、人材基盤の強化や、IT 化などで業務のシステム化を図る方針との答弁がありました。

●越谷警察の新庁舎が竣工すれば県内で一番古い庁舎から最新の庁舎になります。正に IT 化など新システム導入には最適な条件となります。私もあらゆる機会を捉え、越谷警察署の警察官の増員と基盤強化を訴えて参る所存です。

## ■ フォトアラカルト



初詣  
久伊豆神社



コバトンと交通安全



阿炎関県庁に凱旋



杵を振るう県政にも

■ 視察報告 (愛知県・岐阜県)



視察メンバー (国際高等学校)

● 総務県民生活委員会で2年振りに11月21~22日で先進地を視察しました。テーマは私学の振興(愛知県・国際高等学校)、スポーツの振興(岐阜・スポーツ科学センター)です。

● 国際高等学校は全寮制でグローバルに活躍する人材育成を目指し、ケースメソッドの教育手法を取り入れてビジネスリーダーを育て、バカロレア・ディプロマ(国際標準高校課程)で分析・研究・管理能力を向上させる学習アプローチを組んでいます。

● 岐阜県スポーツ科学センターは岐阜の指定強化選手を中心にスポーツ医学・科学を活用し、各分野の研究者と連携して競技力向上

に取り組み専用の計測機器でスキルチェックをして、フォームや動作を測定・分析して解析し科学情報として選手に提供。各施設でレジスタンストレーニングや低酸素ルームで持久カトレーニングなどのプログラムを提供して指導。選手が抱える健康や体力など様々な課題にもスポーツドクターが相談に応じている。県にスポーツ医学施設の誘致を提言(R元,6)した私には興味深い視察でした。

■ topics

● 越谷産業フェスタを參觀しました。展示・体験コーナーで素晴らしい製品を発見。高齢者などのアクセラとブレーキの踏み間違えによる交通事故が多発して大きな社会問題となっています。その事故を未然に防ぐ装置が越谷の会社のアイデアと埼玉大学の研究とのコラボで開発され、既に製品化、従来の装置と比べると安価であり、取り付けも短時間で済むとの事、販売を開始。国際特許も出願中で、世界各国の自動車メーカーにアピールするとの事。この機会にぜひ、埼玉を！越谷を！喧伝して欲しい。

越谷で開発!! 「アクセラブレーカ」  
越谷産業フェスタで展示

途の政策もあり、口惜しい思いではと偲ばれます。県政の立場ですが思いを受け止め、しつかり取り組む覚悟です。謹んでご冥福をお祈り致します。

● 凶弾に斃れた安倍晋三元首相。在職期間三十八八日の憲政史上最長といわれますが未だ道半ば、憲法改正など達成半



追悼 安倍晋三元首相 合掌

■ フォト・アラカルト



R4, 5/21



R4, 11/10

国民保護実働訓練  
大野知事と共に  
於：富士見市



R4, 11/22

最新測定器機を体験  
岐阜スポーツ科学センター



R4, 11/22

岐阜スポーツ科学センター





皆さま、こんにちは！高橋稔裕です。日頃の応援に心より感謝申し上げます。依然最重要課題は新型コロナ対策です。先般の令和4年2月定例県議会でも大きな予算項目でした。とはいうものの、医療資源の限界、人繰りの限界や人の折り重なる組織運営の問題、危機管理についてどう考えていかなどを考えていかなければならない議会であったと思います「いかなるときでも生活していけるしなやかで力強い社会」を作っていくべきところですが、平時から、その準備を有権者にお許しただけか、本当に難しい決断を要するものと感じました。

※右下に設けております、今回の県政報告にあたっては後談します

今回の報告では、本議会で議決された、令和4年度当初予算2兆2,284億円の中から、地元加須に執行される生活基盤を支える予算や力をいれる「空き家対策」について、ご報告させていただきます。

### 令和4年度予算では

コロナ感染拡大防止対策とデジタルトランスフォーメーションの推進を埼玉県では最重点施策としております。

重点施策

#### コロナ感染拡大防止対策

1,846 億円

- ◆検査・医療提供体制等の確保 ◆フォローアップ体制や軽症者等の療養体制の確保
- ◆ワクチン接種の推進 埼玉県ワクチン接種センターの運営 追加接種を加速するため接種会場を県内4か所に拡充 副反応等の相談窓口の運営 ◆感染症専門人材の育成
- ◆福祉施設リリーフサービス制度の構築 ◆児童福祉施設等への支援
- ◆飲食店等での感染防止対策

#### デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

129 億円

- ◆新たなビジネスモデルへの転換を目指す中小企業の支援 ◆デジタル人材育成・確保支援
- ◆テレワークの推進 ◆商店街のキャッシュレス化推進 ◆県内中小企業のニーズに対応したデジタル人材育成 ◆行政手続きのオンライン化推進 ◆DXに向けたデジタル基盤整備
- ◆県営住宅入居申込のデジタル化 ◆公金収納のキャッシュレス化

それ以外にも「豊かな水とみどりを守り育む」「未来を創る人材への投資」をテーマにしたSDGs(持続可能な開発目標)の推進が重点施策になっております。

### 加須を守る私として

下記のような事業も盛り込まれており、皆さまの生活や、加須市のために、活かしていけたらと考えております。

#### 教育局予算の増加

+45億3,750万円

#### 埼玉版スーパーシティプロジェクト関連事業

1億3,840万円

#### 水害対策については

323億円(2月補正合計)

暮らしをよくする かその生活基盤整備

⇒裏面を参照ください

#### 地域活性化・地域福祉向上の武器となる！

- テレワーク・副業×地域ミッション事業：950万円
- 子どもの居場所づくりの支援(子供食堂・フードパントリー)：1,820万円
- 空き家対策の促進：2,270万円
- エッセンシャルワーカーの処遇改善：121億7,220万円
- スマート農業の推進：4,000万円
- 農業生産基盤の整備：55億8,700万円
- 多面的機能支援事業：6億2,480万円

高橋は農業に力を入れます

〒347-0056 埼玉県加須市土手2-17-15  
TEL:0480-61-7681 FAX:0480-61-7682  
mail:takahashi.kengi2019@gmail.com

## とりわけ今回は空き家対策の推進について皆さんと共有したいと思います

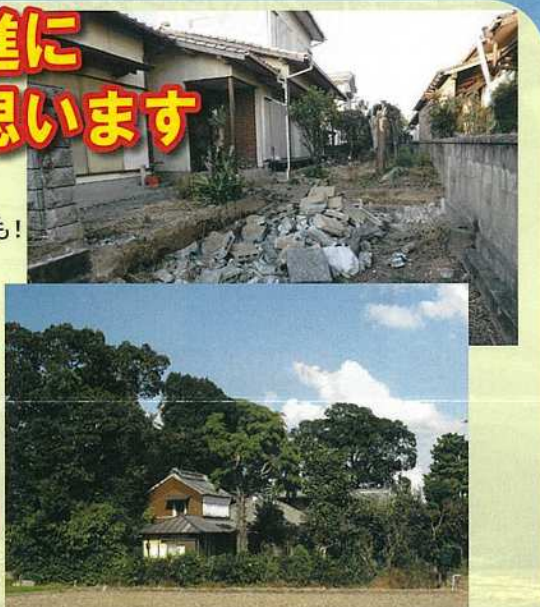
まちなかもですが農村が空き家だらけになったら大変です。アパート住まいの次は古民家空き家で豊かな暮らしを！近くの一軒家で近居も！というビジョンを持って！！

～既に空き家は埼玉県で34万6千戸 加須市で5,100戸

空き家が放置されることにより、草木の繁茂、害虫の発生、老朽化により景観上の問題が生じ近隣に悪影響を与えるなど、社会的な問題になっています。何より **まちの活力が失われていきます。**

今回埼玉県予算では **空き家対策の促進：2,270万円**

埼玉県では市町村及び関係団体と連携し、一部新規事業を交え、下記に積極的に取り組みます。



写真はイメージです

### 空き家予防のための相続おしかけ講座

住宅をスムーズに相続できず、大事な実家がボロボロの空き家になってしまうケースが増えています。広く自治会や高齢者サロン等で、「相続おしかけ講座」を無料で行い、元気なうちに住宅を相続する際のお得な情報やちょっとしたコツを分かりやすく解説します。多くの方が対策を取れるようになり、空き家になることを防ぎます。

申込 127 件 参加者 約 3,700 人  
(自治会 51 件、地域包括支援センター 26 件、社会福祉協議会 16 件、公民館 13 件)

アンケート結果(令和2年度)  
相談対策を始めようと思った82%・分かりやすかった92%

### 空き家コーディネーター活用事業-新規-

専門家を活用する「空き家コーディネーター」を配置し、空き家所有者や活用希望者等からの相談に対する助言・提案や、空き家所有者と活用希望者とのマッチングなどに対応できる体制を整備します。

空家所有者 ↔ 相談 → 空家コーディネーター(空家相談の交通整理・マッチング) ↔ 相談 → 活用希望者/移住希望者

空家所有者 → 提案 → 空家コーディネーター → 提案 → 活用希望者/移住希望者

空家所有者 ↔ 相談 → 市町村 ↔ 連携 → 空家コーディネーター ↔ 連携 → 活用希望者/移住希望者

空家コーディネーター → 予防・流通・活用・除却 → 市町村

空家コーディネーター ↔ 連携 → 専門家(関係団体)との連携

活用希望者/移住希望者 → 相談 → 市町村 ↔ 連携 → 移住等相談窓口

### 空き家予防のために 相続おしかけ講座

～ 将来、家族に負担をかけないための『相続ココだけの話』～

- 講師は、相続に詳しい行政書士や司法書士
- 高齢者サロン、自治会などの集いに講師を派遣
- 対話形式で相談しやすい講座です

費用 無料

ぜひ、お申込みください！(申込書は裏面です。)

■ 相続おしかけ講座とは  
「自分に何かがあったとき・・・」「認知症になったら・・・」  
家族に負担をかけないために『今できること』って何だろう・・・  
そんな悩みにお応えします！ 相続や認知症への「備え」について 専門家が分かりやすく説明してくれる講座です

■ お申込み方法  
裏面の申込書に必要事項を記入の上、希望日の1か月前までに開催場所の市町村 担当窓口へご提出ください

〇〇市役所 〇〇課 〇〇担当  
TEL: ××-××××-××××  
FAX: ××-××××-××××

今回の県政報告にあたって 一何を選択しているのか考えるー

平時に戻ったとき自分自身たくさんのマスクを備蓄したり、コロナの対策を行っていくことができるか。自身で備蓄するなど用意せずにマスクは買いに行けばよい→かと言ってすぐにメーカー企業は大量生産できない→小売店舗にマスクが用意できない。誰が用意を引き受けるのか。我々の血税により行政で備蓄をすれば良いかもしれませんが、税のご負担を許容できるか これは一例ですが考えるべき事は尽きません。最後にウクライナの方々の平穏が少しでも早く戻ることを心より祈念し結びと致します。

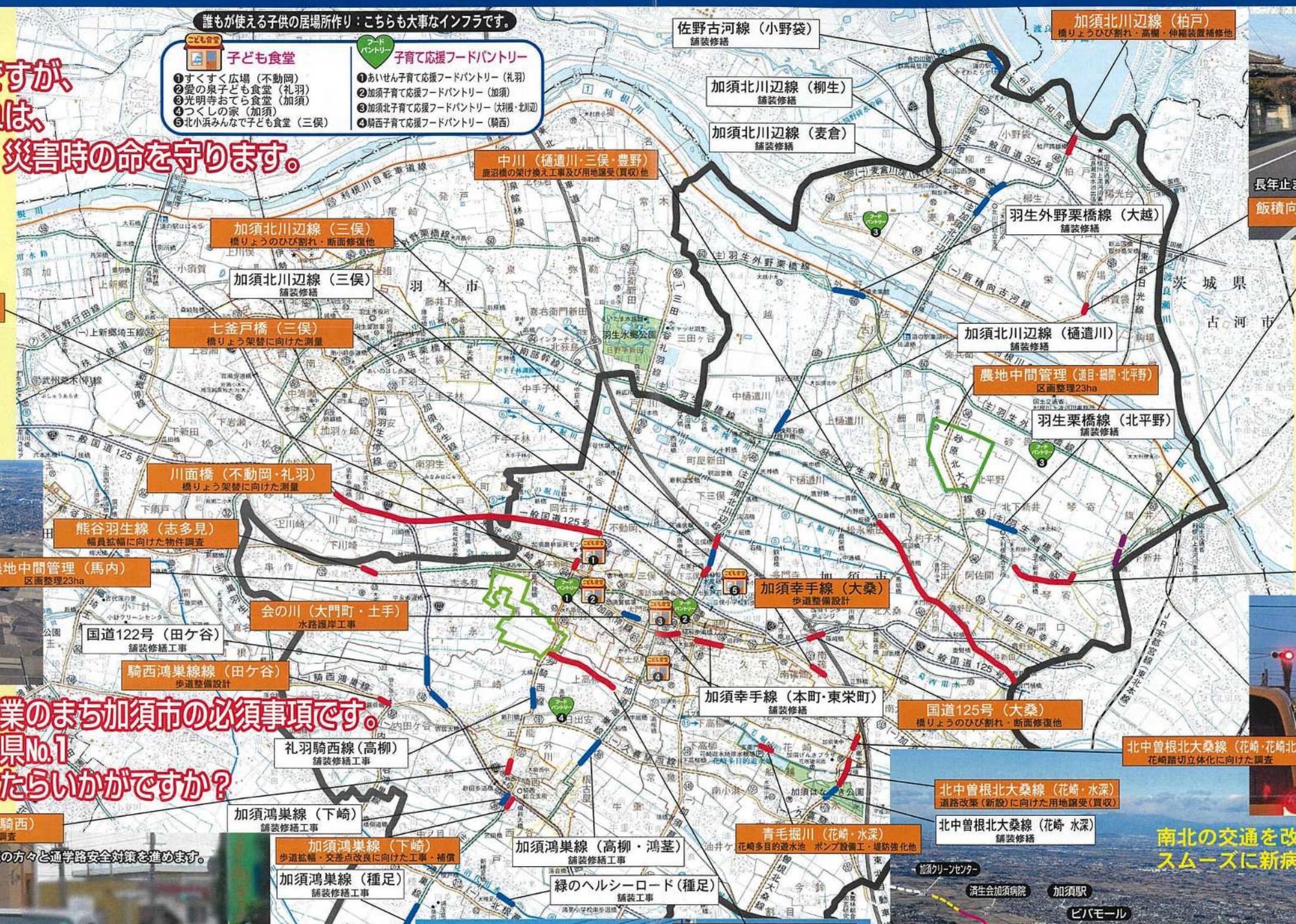


若い力 38才

# 埼玉県 市内の令和4年予算のご報告。日々の暮らしと救急・災害時の命を守るため、長年動かなかった生活基盤整備事業を進めます。

気づきにくいところですが、幹線道路や河川の流れは、日々の暮らしと救急・災害時の命を守ります。

農地の大規模化は、農業のまち加須市の必須事項です。かその農地面積は埼玉県No.1それが草だらけになったらいかがですか？



国道125号バイパス (不動岡・羽生) 神戸橋上部工事・4車線化に向けた工事



農地中間管理 (馬内) 区画整理23ha



久喜騎西線 (騎西) 幅員拡幅に向けた調査 小中学校至近、地域の方々と通学路安全対策を進めます。



久喜騎西線 (騎西・加須・礼羽) 加須駅通りまで3月24日供用開始。今後は加須クリーンセンター、東ははなさき水上公園までつながります。



長年止まっていた拡幅工事が動きまます。飯積向古河線 (北川辺栄東) 幅員拡幅工事



稲荷木落3・5期 (元和・原道・東) 排水路工事



カインズモールへ、樋遣川が、大利根全体が、潤おう道路になります。羽生栗橋線 (元和) 道路改革 (新設) に向けた測量



北中曽根北大桑線 (花崎・水深) 道路改革 (新設) に向けた用地買収 (買収) 調査中

南北の交通を改善し、多くの方がスムーズに新病院を利用する為に...



花崎方面からの航空写真

# 高橋としひろ

## 県政レポート 第七号



皆さん、こんにちは！日頃の応援に感謝申し上げます！今回は、埼玉県議会6月定例会での私のとりあげた一般質問の内容を中心に県政のご報告をさせていただきます。この議会では一般会計補正予算3件含む38の議案を可決・承認・同意致しました。また、差別解消に向けた「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」「埼玉県性の多様性に係る理解増進に関する条例（LGBTQ理解増進条例）」の2件の議員提出条例が可決されました。条例の検討に当たっては様々な意見がありましたが、当事者の方々の思いや願いを尊重し、差別的扱いを受けている方々を支える県政であるべきと考えました。今後もこれらの問題に関してはフォローを続け、必要な対応は柔軟に行うことが必要と考えております。

### 危機対応としての オンライン学習

県教育長へ  
質します

～いかなるときも二度と子どもの学びを止めない～

**高** 一昨年の一般質問でも取り上げましたが、2年前は度重なる休校の中、学びは止まってしまいました。

オンライン学習は、子供たちの継続的な学びの確保とともに、日々の児童生徒の状況把握や心のケアなどにも有効と受け止めている。災害時の危機的な状況の中でも子供たちの学びを止めないことが何よりも大事であり、緊急時に備えオンライン学習の実施訓練を行うことは大変重要であるとの高田教育長の認識を確認。今般、新たに県教育委員会の対応方針が下記のように示されました。

- ・県立学校では、学校の実情に応じたオンライン学習の訓練の実施を検討する。
- ・小中学校では、例えば災害時を想定した保護者による児童の引き渡し訓練を実施している学校もあることから、こうした機会を活用するなどオンライン学習の訓練の実施について市町村教育委員会に働きかけていく。各市町村には、様々な事情があるが、働きかけを行い、しっかり対応できるよう努める。

**高** コロナ禍、児童も教員もオンライン学習のスキルが上がっています。しかし多くの学校ではそれを維持する活動が行われていません。本当にもったいないことです。

### 県内の移動の 自由を考える

大野知事へ  
質します

**Q** 高齢者等の移動手段の確保についての認識と県による市町村支援の在り方について質問しました。

- ・地域公共交通活性化促進事業補助金の対象として病院などへの患者の送迎サービスの導入/バス停への駐輪場の設置/交通空白地での有償旅客運送
- ・ふるさと創造資金の要件を満たす場合の取組として公的支援を必要とする移動スーパーは、初期費用について資金面の支援

大野知事からは、県として、積極的に市町村の支援を実施していくとの答弁のもと、上記のような具体的な例示がなされました。高齢者をはじめとする地域の移動手段の確保は、我が国にとって大きな課題であり、市町村の声にもしっかりと耳を傾けながら、高齢者をはじめとする地域の移動手段の確保、交通サービスの充実に努めていくとのことです。

**高** なかなか進まない現実がありますが切実な課題です。超急速な高齢化を迎える言わばメガトレンドであり、強く働きかけていきます。

### 肥料価格高騰について

農林部長へ  
質します

**Q** 価格二倍になる肥料も出てきていることを念頭に、今後想定される事態と農林部の対応について質問しました。

まず、肥料は生産コストの概ね10%を占めており肥料需給のひっ迫や価格高騰が、農業経営に与える影響について、強く懸念されるとの認識を確認。

次に、化学肥料の使用量が少なく肥料価格の変動に強い栽培体系への転換のための施策を促進する。6月に国で閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、「肥料価格高騰への対策の構築等の検討を進める」とした、国の支援策の動向を注視し、農業者が経営を継続できるよう、効果的な支援策を検討するとの農林部長の答弁がありました。

**高** 9月定例会県議会では、肥料価格の変動に強い栽培体系への転換促進にあたり、当然課題となるたい肥をまく機械等に対する補助予算が県単独で上程される動きがあり、一層の働きかけをして参ります。



### 誰一人取り残さないデジタル 社会の実現に向けて

企画財政部長へ  
質します

**高** 高齢等の理由で新たな知識の習得が難しい方々が、「取り残されない」と思える安心感の醸成がデジタル化を進める！との認識のもと

**Q** 「使い方格差」の解消がデジタル化の機運を盛り上げること、及び「埼玉版デジタル推進委員」の設置について質しました。

まず、身近な窓口で職員が直接申請の手助けをしている自治体ではマイナンバーカードの交付率が高くなっている例のように、ユーザーの気持ちに寄り添い成果をあげている取組を参考に、きめ細かなフォローを提供していくことの重要性を確認。

そして、「支援が必要との御指摘を真摯に受け止め、国の動向も見極めつつ、1つ1つの手続の内容に応じた的確で、ユーザーの目線に立った丁寧な、デジタルバйд解消策を検討する」と企画財政部長より答弁がありました。

### 介護離職について

産業労働部長へ  
質します

**高** 団塊の世代が73～76歳を迎え、この5年で要介護認定率が上がる方が急増します。その子は働き盛りの方々です。こちらも、超急速な高齢化を迎えるメガトレンドです。強く働きかけていきます。

**Q** 企業にとっても、高いスキルを持った有能な人材や管理職など企業の中核となる人材を、介護離職により突然失うこともあり介護離職対策は大きな経営課題になることを念頭に、経営者への啓発・働きかけについて質しました。

県では仕事と生活の両立支援相談窓口のアドバイザーの、個々の企業の実状に応じた適切な助言をしているとの、これまでの対応を確認。

今年度は、11月のケアラ一月間に合わせてオンラインで企業の経営者向けに「介護」をテーマとしたセミナーを計画し、県内の多くの中小企業に呼び掛けることで、企業の意識啓発を図るとともに、優良事例の情報提供に努めるとの、答弁を産業労働部長より頂きました。



## 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する

国土整備部長へ質します

### ①東武伊勢崎線花崎踏切について

県道北中曽根北大桑線の花崎踏切は、東武伊勢崎線花崎駅と近接しており、遮断時間が長く、交通量も多いことから、朝夕を中心に渋滞が発生しています。このため、県では、鉄道事業者や交通管理者と協議を行い、検討してきましたが、立体化による抜本的な対策が必要との結論に至りました。この踏切の前後は、家屋が連担し、交差する道路も多く、また、水路や高速道路が近接しているなど、立体化には、多くの課題があります。

そこで、令和3年度に踏切周辺の交通量調査を実施。今後は、現地測量を行い、立体化に向けた課題を整理し検討を進めていく、との答弁をいただきました。

### ②久喜騎西線バイパスの早期整備

県道久喜騎西線バイパスは、花崎踏切のある県道北中曽根北大桑線に接続し、済生会加須病院に続く道です。現在進めている区間で事業を終えるのではなく、西は志多見、羽生、行田を、東は久喜市内や大利根、旧栗橋との接続を念頭に延伸させていくことが生活と命を守る道路にすることにつながります。c区間については、済生会加須病院の開院に合わせて、令和4年3月に、供用しており、以降下記のようなスケジュールを今回の答弁で提示されました。

- b区間: これまでに測量や道路設計等を実施し、令和4年度は用地取得に着手する。
- e区間: 用地買収率が99%、工事進捗率は60%となっている。引き続き、残る用地の取得に努め、早期完成に向けて取り組む。この区間については、直近で大きく進展が見られました！ご尽力下さった方々に感謝申し上げます！！
- a, f区間: 事業区間の延伸につきましては、現在の事業中間の進捗状況や周辺道路の整備状況を踏まえながら、研究していく。



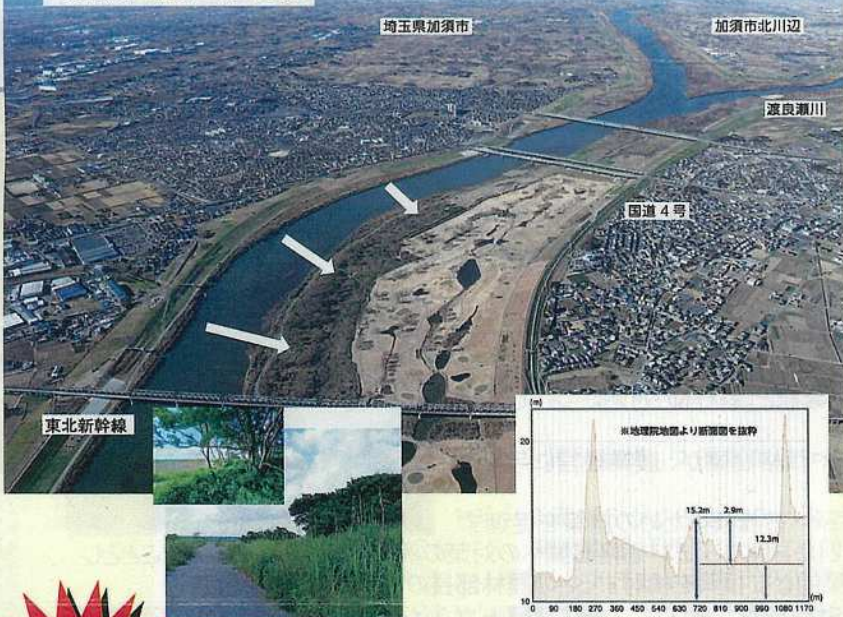
### ③利根川の堆積土をとる浚渫工事について ~埼玉県民の安心と安全を守る

国では定期的な実施している直近の河道の測量でも状況に大きな変化がないことを確認。国土交通省のウェブサイトでは河川整備計画を公開し、御指摘の区間も含め、河道の目標流量等、現況流下能力を確認できるような情報を提供。河川の計画や整備状況を広く住民の方へ周知する場として、出前講座を実施しており、要望に応じて、説明会を開催する。県としては、引き続き国に対して、御指摘の箇所を含む利根川の治水安全度向上に資する事業推進について要望していくとともに、浚渫など適切な維持管理の着実な実施を国に働きかけていく。

また、本議会でこのやりとりについても、国と情報共有していく、との答弁でした。

高 現状この地点は、国・県としては、安全であるとのことで、見解の相違が浮き彫りになりました。私としては、取組が進むよう今後も働きかけを続けます。

利根川堆積土の現状



### ④羽生栗橋線バイパスについて

高 3年前の一般質問の取組みが少し前進しております。

県道砂原北大桑線から東側の市道128号線までの920メートル区間については、接続先の市道の拡幅の見通しが立たないことから、関係機関と協議の上、地元の生活道路として、幅員を狭めて、暫定的に整備することとし、工事を再開。今後、舗装工事や交差点付近の改築工事を進め、令和4年度内の暫定供用を目指していく。また、市道128号線から東側の野中土地区画整理事業地までの約1.3キロメートル区間については、令和3年度に事業着手し、現在、測量や道路設計を実施しており、今後は、用地測量を進めていくと答弁をいただきました。



### ⑤県道同士が交わる 榎戸交差点の渋滞対策及び安全対策について

榎戸交差点は、加須と鴻巣とを結ぶ主要幹線道路の県道同士の交差する加須市騎西地区の交通の要衝です。そういった交差点にも関わらず右折帯もなく、渋滞対策もなされていない状況です。通学路でもあります。今回の質問を通して、この交差点について右折帯や歩道整備に向け、きちんとした調査や検討がなされることになりました。

## 魅力ある埼玉

大野知事へ質します

県教育長へ質します

### Q「適疎」の視点を重視した取組について質しました。

適疎の考え方とは、国際的に丁寧な比較を行うと、我々が標準だと思っていた都市の人口密度は超過密で、過疎だと思っていたところが人間的には快適に暮らせる適疎であるという視点のことです。顕著な例として小鹿野町や東秩父村はイギリスやドイツと同等の人口密度を有している。

まず、人口減少の進むエリアは、豊かな自然と調和したゆとりのある暮らしができる、まさに「適疎」の地域であり、ここ数年のコロナ禍によって、都内での「密」を避け、心地良く、適度なゆとりのある人間らしい暮らしを求めて、地方への移住に関心を持つ方が増えるなど、人々の行動・意識・価値観に変化が生じてきているとの大野知事からの答弁がありました。

次に、移住施策は移住施策だけで完結してはならず、まさに「暮らし施策」であり、暮らしに密接に関係する担当部局が連携して取り組むことが必要であることを、大野知事に確認しました。

最後に、県庁としての、暮らし施策や移住施策の強調すべき部分や戦略を具体的に企画財政部長の答弁から共有することができました。

示された優位性: 首都圏近郊と比較し自然災害が少ないこと / 都市と地方の魅力に簡単にアクセスすることができる充実した交通網(特に高速道路ネットワークは地方にないアドバンテージ) / コロナ禍で普及したテレワークの中、都内へ出勤する場合でも十分対応が可能なこと。 / 秩父夜祭などの伝統芸能があり、他方では若者に人気のあるバーベキュー場やキャンプ場が身近にあるなど、多彩な地域資源に恵まれていること。

高 今まであいまいであった、埼玉県優位性や独自性、「適疎」としての良さを共有し、全体の方向性を明らかにしました。

埼玉県には、人間的に暮らしやすい適疎という環境があり、豊かに暮らせる・職業人生を送れる地域だということを、客観的に伝える取組に焦点当てたキャリア教育が必要であるという認識の下、

### Q 適疎の視点や豊かな暮らしを意識したキャリア教育について質しました

キャリア教育の一環として、埼玉の優位性が認められる客観的データ(一人当たり所得や三次産業の成長力の高さ)や魅力を踏まえ、埼玉県は、暮らしやすい適疎の地であり、働きやすいところであると子どもたちに伝えていくとの、高田教育長から答弁がありました。

高 同様の取組を行う島根県では、学生が県外に出た後に地元に戻ってくる率が高く、皆さまの子や孫の世代が帰ってきたいと思える埼玉県になるよう一層、働きかけていきます。

私の政務活動は、分かりやすく皆さまに発信しご意見を聞くことで、政治や行政とのコミュニケーションを活性化させること / 一般質問等を通して、県の方針を確認し、県政が良き方向に誤った方向に進まないよう議論を交わすこと / また確信をもって必要な施策であると判断するときには、積極的に具体的な提案を行っていくこと / 時に集団となって物事を進めることと認識しております。議員の仕事は見えにくく、成果が足りないと感じることも多々ありますが、一層精進してまいります。



全文を見たい方は 県HPまで!



若い力

# 高橋としひろ



皆さん、こんにちは！日頃の応援に感謝申し上げます！今回は、埼玉県議会6月定例会での私のとりあげた一般質問の内容を中心に県政のご報告をさせていただきます。この議会では一般会計補正予算3件含む38の議案を可決・承認・同意致しました。また、差別解消に向けた「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」「埼玉県性の多様性に係る理解増進に関する条例(LGBTQ理解増進条例)」の2件の議員提出条例が可決されました。条例の検討に当たっては様々な意見がありましたが、当事者の方々の思いや願いを尊重し、差別的扱いを受けている方々を支える県政であるべきと考えました。今後もこれらの問題に関してはフォローを続け、必要な対応は柔軟に行うことが必要と考えております。

## 危機対応としてのオンライン学習

県教育長へ  
質します

～いかなるときも二度と子どもの学びを止めない～

**高** 一昨年の一般質問でも取り上げましたが、2年前は度重なる休校の中、学びは止まってしまいました。

オンライン学習は、子供たちの継続的な学びの確保とともに、日々の児童生徒の状況把握や心のケアなどにも有効と受け止めている。災害時の危機的な状況の中でも子供たちの学びを止めないことが何よりも大事であり、緊急時に備えオンライン学習の実施訓練を行うことは大変重要であるとの高田教育長の認識を確認。今般、新たに県教育委員会の対応方針が下記のように示されました。

・県立学校では、学校の実情に応じたオンライン学習の訓練の実施を検討する。  
・小中学校では、例えば災害時を想定した保護者による児童の引き渡し訓練を実施している学校もあることから、こうした機会を活用するなどオンライン学習の訓練の実施について市町村教育委員会に働きかけていく。各市町村には、様々な事情があるが、働きかけを行い、しっかり対応できるよう努める。

**高** コロナ禍、児童も教員もオンライン学習のスキルが上がっています。しかし多くの学校ではそれを維持する活動が行われていません。本当にもったいないことです。

## 県内の移動の自由を考える

大野知事へ  
質します

**Q** 高齢者等の移動手段の確保についての認識と県による市町村支援の在り方について質問しました。

- ・地域公共交通活性化促進事業補助金の対象として病院などへの患者の送迎サービスの導入/バス停への駐輪場の設置/交通空白地での有償旅客運送
- ・ふるさと創造資金の要件を満たす場合の取組として公的支援を必要とする移動スーパーは、初期費用について資金面の支援

大野知事からは、県として、積極的に市町村の支援を実施していくとの答弁のもと、上記のような具体的な例示がなされました。高齢者をはじめとする地域の移動手段の確保は、我が国にとって大きな課題であり、市町村の声にもしっかりと耳を傾けながら、高齢者をはじめとする地域の移動手段の確保、交通サービスの充実に努めていくとのことです。

**高** なかなか進まない現実がありますが切実な課題です。超急速な高齢化を迎える言わばメガトレンドであり、強く働きかけていきます。

## 肥料価格高騰について

農林部長へ  
質します

**Q** 価格二倍になる肥料も出てきていることを念頭に、今後想定される事態と農林部の対応について質問しました。

まず、肥料は生産コストの概ね10%を占めており肥料需給のひっ迫や価格高騰が、農業経営に与える影響について、強く懸念されるとの認識を確認。

次に、化学肥料の使用量が少なく肥料価格の変動に強い栽培体系への転換のための施策を促進する。6月に国で閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、「肥料価格高騰への対策の構築等の検討を進める」とした、国の支援策の動向を注視し、農業者が経営を継続できるよう、効果的な支援策を検討するとの農林部長の答弁がありました。

**高** 9月定例会県議会では、肥料価格の変動に強い栽培体系への転換促進にあたり、当然課題となるたい肥をまく機械等に対する補助予算が県単独で上程される動きがあり、一層の働きかけをして参ります。



## 誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて

企画財政部長へ  
質します

**高** 高齢等の理由で新たな知識の習得が難しい方々が「取り残されない」と思える安心感の醸成がデジタル化を進める！との認識のもと

**Q**「使い方格差」の解消がデジタル化の機運を盛り上げること、及び「埼玉版デジタル推進委員」の設置について質しました。

まず、身近な窓口で職員が直接申請の手助けをしている自治体ではマイナンバーカードの交付率が高くなっている例のように、ユーザーの気持ちに寄り添い成果をあげている取組を参考に、きめ細かなフォローを提供していくことの重要性を確認。

そして、「支援が必要との御指摘を真摯に受け止め、国の動向も見極めつつ、1つ1つの手続の内容に応じた的確で、ユーザーの目線に立った丁寧な、デジタルデバйд解消策を検討する」と企画財政部長より答弁がありました。

## 介護離職について

産業労働部長へ  
質します

**高** 団塊の世代が73～76歳を迎え、この5年で要介護認定率が上がる方が急増します。その子は働き盛りの方々です。こちら、超急速な高齢化を迎えるメガトレンドです。強く働きかけていきます。

**Q** 企業にとっても、高いスキルを持った有能な人材や管理職など企業の中核となる人材を、介護離職により突然失うこともあり介護離職対策は大きな経営課題になることを念頭に、経営者への啓発・働きかけについて質しました。

県では仕事と生活の両立支援相談窓口のアドバイザーの、個々の企業の実状に応じた適切な助言をしているとの、これまでの対応を確認。

今年度は、11月のケアラー月間に合わせてオンラインで企業の経営者向けに「介護」をテーマとしたセミナーを計画し、県内の多くの中小企業に呼び掛けることで、企業の意識啓発を図るとともに、優良事例の情報提供に努めるとの、答弁を産業労働部長より頂きました。





## 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する

県土整備部長へ  
質します

### ①東武伊勢崎線花崎踏切について

県道北中曽根北大桑線の花崎踏切は、東武伊勢崎線花崎駅と近接しており、遮断時間が長く、交通量も多いことから、朝夕を中心に渋滞が発生しています。このため、県では、鉄道事業者や交通管理者と協議を行い、検討してきましたが、立体化による抜本的な対策が必要との結論に至りました。この踏切の前後は、家屋が連担し、交差する道路も多く、また、水路や高速道路が近接しているなど、立体化には、多くの課題があります。

そこで、令和3年度に踏切周辺の交通量調査を実施。今後は、現地測量を行い、立体化に向けた課題を整理し検討を進めていく、との答弁をいただきました。

### ②久喜西線バイパスの早期整備

県道久喜西線バイパスは、花崎踏切のある県道北中曽根北大桑線に接続し、済生会加須病院に続く道です。現在進めている区間で事業を終えるのではなく、西は志多見、羽生、行田を、東は久喜市内や大利根、旧栗橋との接続を念頭に延伸させていくことが生活と命を守る道路にすることにつながります。c区間については、済生会加須病院の開院に合わせて、令和4年3月に、供用しており、以降下記のようなスケジュールを今回の答弁で提示されました。

- b区間:これまでに測量や道路設計等を実施し、令和4年度は用地取得に着手する。
- e区間:用地買収率が99%、工事進捗率は60%となっている。引き続き、残る用地の取得に努め、早期完成に向けて取り組む。高この区間については、直近で大きく進展が見られました！ご尽力下さった方々に感謝申し上げます！！
- a, f区間:事業区間の延伸につきましては、現在の事業中間の進捗状況や周辺道路の整備状況を踏まえながら、研究していく。



### ③利根川の堆積土をとる浚渫工事について ～埼玉県民の安心と安全を守る

国では定期的に行っている直近の河道の測量でも状況に大きな変化がないことを確認。国土交通省のウェブサイトでは河川整備計画を公開し、御指摘の区間も含め、河道の目標流量等、現況流下能力を確認できるような情報を提供。河川の計画や整備状況を広く住民の方へ周知する場として、出前講座を実施しており、要望に応じて、説明会を開催する。県としては、引き続き国に対して、御指摘の箇所を含む利根川の治水安全度向上に資する事業推進について要望していくとともに、浚渫など適切な維持管理の着実な実施を国に働きかけていく。

また、本議会でのやりとりについても、国と情報共有していく、との答弁でした。

高現状この地点は、国・県としては、安全であるとのこと、見解の相違が浮き彫りになりました。私としては、取組が進むよう今後も働きかけを続けます。



### ④羽生栗橋線バイパスについて

高3年前の一般質問の取組が少し前進しております。

県道砂原北大桑線から東側の市道128号線までの920メートル区間については、接続先の市道の拡幅の見通しが立たないことから、関係機関と協議の上、地元の生活道路として、幅員を狭めて、暫定的に整備することとし、工事を再開。今後、舗装工事や交差点付近の改築工事を進め、令和4年度内の暫定供用を目指していく。また、市道128号線から東側の野中土地区画整理事業地までの約1.3キロメートル区間については、令和3年度に事業着手し、現在、測量や道路設計を実施しており、今後は、用地測量を進めていくと答弁をいただきました。



### ⑤県道同士が交わる 榎戸交差点の渋滞対策及び 安全対策につて

榎戸交差点は、加須と鴻巣とを結ぶ主要幹線道路の県道同士の交差する加須市騎西地区の交通の要衝です。そういった交差点にも関わらず右折帯もなく、渋滞対策もなされていない状況です。通学路でもあります。今回の質問を通して、この交差点について右折帯や歩道整備に向け、きちんとした調査や検討がなされることになりました。

## 魅力ある埼玉

大野知事へ  
質します

県教育長へ  
質します

### Q「適疎」の視点を重視した取組について質しました。

適疎の考え方とは、国際的に丁寧な比較を行うと、我々が標準だと思っていた都市の人口密度は超過密で、過疎だと思っていたところが人間的には快適に暮らせる適疎であるという視点のことです。顕著な例として小鹿野町や東秩父村はイギリスやドイツと同等の人口密度を有している。

まず、人口減少の進むエリアは、豊かな自然と調和したゆとりのある暮らしができる、まさに「適疎」の地域であり、ここ数年のコロナ禍によって、都内での「密」を避け、心地良く、適度なゆとりのある人間らしい暮らしを求めて、地方への移住に関心を持つ方が増えるなど、人々の行動・意識・価値観に変化が生じてきているとの大野知事からの答弁がありました。

次に、移住施策は移住施策だけで完結してはならず、まさに「暮らし施策」であり、暮らしに密接に関係する担当部局が連携して取り組むことが必要であることを、大野知事に確認しました。

最後に、県庁としての、暮らし施策や移住施策の強調すべき部分や戦略を具体的に企画財政部長の答弁から共有することができました。

示された優位性:首都圏近郊と比較し自然災害が少ないこと / 都市と地方の魅力に簡単にアクセスすることができる充実した交通網(特に高速道路ネットワークは地方にないアドバンテージ) / コロナ禍で普及したテレワークの中、都内へ出勤する場合でも十分対応が可能なこと。 / 秩父夜祭などの伝統芸能があり、他方では若者に人気のあるバーベキュー場やキャンプ場が身近にあるなど、多彩な地域資源に恵まれていること。

高今まであいまいであった、埼玉県優位性や独自性、「適疎」としての良さを共有し、全体の方向性を明らかにしました。

埼玉県には、人間的に暮らしやすい適疎という環境があり、豊かに暮らせる・職業人生を送れる地域だということを、客観的に伝える取組に焦点当てたキャリア教育が必要であるという認識の下、

### Q適疎の視点や豊かな暮らしを意識したキャリア教育について質しました

キャリア教育の一環として、埼玉の優位性が認められる客観的データ(一人当たり所得や三次産業の成長力の高さ)や魅力を踏まえ、埼玉県は、暮らしやすい適疎の地であり、働きやすいところであると子どもたちに伝えていくとの、高田教育長から答弁がありました。

高同様の取組を行う鳥根県では、学生が県外に出た後に地元に戻ってくる率が高く、皆さまの子や孫の世代が帰ってきたいと思える埼玉県になるよう一層、働きかけていきます。

私の政務活動は、分かりやすく皆さまに発信しご意見を聞くことで、政治や行政とのコミュニケーションを活性化させること / 一般質問等を通して、県の方針を確認し、県政が良き方向に誤った方向に進まないよう議論を交わすこと / また確信をもって必要な施策であると判断するときには、積極的に具体的な提案を行っていくこと / 時に集団となって物事を進めることと認識しております。議員の仕事は見えにくく、成果が足りないと感じることも多々ありますが、一層精進してまいります。



# 高橋としひろ 風林火山

皆さんこんにちは!! 令和4年9月定例会県議会では、補正予算1,765億1,218万9千円を含む、20議案を可決・同意し（2議案継続審査）、10月14日に閉会しました。今回は上記予算が、どのような具体的施策になったかを含め、お伝えいたします。

また、今議会では福祉保健医療副委員長としての委員会報告を行い、防犯のまちづくり条例の改正に会派内の副事務局長・議会の提案者補助者として取り組みましたので、その様子も紹介させていただきます。

埼玉県議会議員 高橋 総裕

## ネットカフェ立てこもり事件防止へ 防犯のまちづくり 条例の一部改正

ネットカフェでの立てこもり凶悪事件が昨年6月、本年6月と相次いで発生したことを受け、自民党県議団では「ネットカフェ立てこもり事件に対する安全検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、春から検討を重ねて参りました。9月定例会において「『防犯のまちづくり推進条例』の一部改正(案)」として議会に提案し、全会一致で可決することができました。

新たな条例では、本人確認、ネットカフェ事業者等に防犯責任者の配置や従業員への防犯指導などの努力義務を、県に店舗に対し指導ができるよう立ち入り根拠を与えることなどが盛り込まれています。施行は令和5年4月1日からを目指します。

付託委員会である総務県民生活委員会にて審査され、荒木裕介県議(さいたま市桜区選出)のもと、**議案提案者補助者として説明・答弁に参画しました。**



## 福祉保健医療副委員長として 本会議において福祉保健医療委員会の報告を行いました。



福祉保健医療委員会における審査経過の概要について、報告申し上げます。本委員会に付託されました案件は、第116号議案のうち福祉部関係及び保健医療部関係の1件であります。

以下、この議案に関して行われた主な論議について申し上げます。

まず、福祉部関係では、「福祉施設における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止のためには、通所系や訪問系の事業所についても、抗原検査キットを配布し、感染拡大防止を図る必要があると考えるがどうか」との質疑に対し、「通所系や訪問系の事業所での検査は必要性があると考えている。本年9月の国からの通知では、次の感染拡大に備えて高齢者施設の職員等に対して集中的な検査の実施を要請しており、支援策として抗原検査キットが県に配布されることになっているため、配布状況を見ながら対応していく」との答弁がありました。

次に、保健医療部関係では、「ひきこもり支援においては、これまでの支援で脱却に向けた次のステップまでなかなかつなげられない状況にある。支援団体の活動内容を周知する動画やSNSでどの程度の効果があるのか。また、発信の際には、ひきこもった理由や社会復帰したきっかけなどを掲載し、社会復帰後の活躍などの視点も必要と考えるがどうか」との質疑に対し、「以前は9団体であった民間支援団体が、ひきこもり支援に関する条例の制定後は31団体まで増えている。動画の完成後は、様々な手段で発信し、身近なところで活動する団体を周知することで、なかなか外に踏み出せない本人や悩んでいる家族に届けていく。また、ひきこもり相談サポートセンターにおいても、ひきこもりを体験した方が、ひきこもって悩んでいる方の相談に対応している事例などの紹介を検討したい」との答弁がありました。以上のような審査経過を踏まえ、本議案について採決いたしましたところ、総員をもって、原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

なお、当面する行政課題として、保健医療部から「順天堂大学附属病院等整備の進捗状況について」の報告があり種々活発な論議がなされましたことを申し添えまして、本委員会の報告を終わります。

# 補正予算の主な内容と具体的施策について

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者①、観光事業者②、農業者③、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。今回は、議案議決後どのように施策が進められているか、チラシも含めてご覧ください。

**1**

では燃料価格高騰の影響を受ける事業者に対し、支援金を交付します。

**申請期間** 令和4年12月1日(木)から  
令和5年2月17日(金)

**交付金額**  
小型・普通自動車(緑色ナンバー) 30,000円/台  
軽自動車(黄色ナンバー)、オートバイ(緑色ナンバー) 10,000円/台

**申請方法** 郵送申請又は電子申請

**申請書入手方法** 埼玉県ホームページからダウンロード  
以下の機関でも配布しています。  
●埼玉県庁 商業・サービス産業支援課  
●本庁管内各支庁  
●埼玉県トラック協会 など

**主な交付要件**  
1. 令和4年9月1日現在において、貸前自動車運送事業に限定された事業者の負担増を受けている、又は負担増に相当する負担増を受けている、又は輸出を行っているものがあること。  
2. 主力店、主力店等の社会的勢力に属する者及び代表者又は役員が主力店等となっている法人でないこと。また、主力店等が経営に事実上参加していないこと。

**お問い合わせ先**  
埼玉県トラック運送審議燃料価格高騰支援金コールセンター  
TEL: 0570-055-067 (ナビダイヤル)  
※コールセンターは12月1日から3月15日の期間中に開設しています。  
(受付時間: 平日 9時00分~21時00分・休日 9時00分~18時00分)  
※2022年12月29日から2023年1月9日を除く

【ホームページ】 <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0002/r4yushienkin/slyogyo.html>

**埼玉県トラック運送事業  
燃料価格高騰支援金**

また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円④、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や込音装置等の導入経費を補助することとなりました⑤。

**県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。**

**2**

とくとく埼玉！観光応援キャンペーン、宿泊客にクーポン付与



観光客の皆さんへ観光地・宿泊施設で利用できる「お宿クーポン券」をプレゼント!!

令和4年12月28日(水)

**4**

一人で悩まず誰かに相談してみませんか?  
せい かつ ごま

## 生活困りごと相談会

そう だん かい

生活に不安があるが、どこに相談してよいかわからない...

仕事が残らない、見つからない

収入が減って、家計のやりくりがうまくできない

全15回 10会場で開催

**相談会**  
弁護士、社会福祉士、キャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナーが相談に対応します。  
※希望者の場合は、事前に受付終了する場合があります。  
※限られた時間のため、本場への整理や相談予約が中心となります。(相談時間: 10分程度)

**食料品等無料配布**  
アンケートに回答された方に食料品等を無料配布(レトルト食品、マスク、生理用品等)  
※なくなり次第、受付終了する場合があります。

主催 埼玉県、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会(委託先)  
お問い合わせ 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 生活支援部 生活支援課  
TEL 048-822-1249 FAX 048-822-1249

**3**

令和4年度「化学肥料低減強化緊急対策事業補助金」の案内

化学肥料を減らすための

## 機械の購入経費を補助します!

肥料価格高騰対策として、化学肥料使用量を低減する(2割減が目標)ため、以下のような目的で使用する機械等の購入経費の1/2を補助します。  
(申請1件あたりの補助金上限500万円、2月末までに納品可能なもの、単純な更新は不可)



例: 独立同時施肥機、圃場用各種の場所施肥機、圃場用ための機械類(エアブロー等)、散布機や散布管を調整できる肥料散布機(7D・4D・4D107等)、土壌分析装置 など

**対象者** 農業法人、農業協同組合、5戸以上の農業者団体等  
※代表者が定められていること。また、定款、組織規程及び修訂規定等の組織規定に関する規定が定められていること。  
※個人は対象となりません。

**必要書類** 事業実施計画書、資金調達計画、参考見積書 等

**提出期限** 令和4年12月23日(金) 大里農林締切

問合せ先 埼玉県農林総合センター-福祉推進部-福祉課  
電話: 048-523-2912  
E-mail: k232612@pref.saitama.lg.jp

**5**

怖い、不安など困ったときは、まずはお電話ください。

## 埼玉県在宅医療 暴力・ハラスメント相談センター

在宅医療に従事する中で、患者やそのご家族などからの暴力や暴言、ハラスメント行為などで困り際は、お気軽にご相談ください。



胸くそをつかれ、悩まされた。

髪を毛でつかまれ、転倒させられた。

無理難題を言われ、叱責された。

母性な言動を受け、手を離された。

**相談対象** 県内の在宅医療に携わる病院、診療所、歯科診療所、薬局、など(相手との接し方や警察への通報認定・栄養ケアステーションの職員 報時の留意点など)

**相談内容** 暴力・ハラスメント等への対応方法など(相手との接し方や警察への通報時の留意点など)

**相談先電話** ☎ 048-783-5224  
※WEBからも相談いただけます  
<https://vcan-media.com/email-consultation-saitama/>

**相談時間** 月～金曜日 9:00～19:00  
(ただし、祝日・年末年始(12/29～1/3)は除く)  
※WEBからの相談は24時間毎日受付

委託先 埼玉県保健医療部医療整備課・健康長寿課・業務課  
受託運営 株式会社ウィ・キャン

### プロフィール

- 昭和 58年 12月5日生まれ O型
- 平成 14年 早稲田大学本庄高等学院卒業
- 平成 18年 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
- 平成 18年 株式会社埼玉りそな銀行 入社  
埼玉県内及び一部都内にて個人・中小企業向け融資渉外業務担当
- 平成 27年 秋山建設株式会社 入社
- 平成 30年 事業構想大学院大学 事業構想研究科修了
- 平成 31年 埼玉県議会議員当選(加須市・東第3区)
- 令和 2年 自由民主党入党
- 令和 4年 福祉保健医療委員会副委員長



大野知事とも意見交換しながら活動を進めています。

〒347-0056 埼玉県加須市土手 2-17-15  
TEL: 0480-61-7681 FAX: 0480-61-7682  
mail: takahashi.kengi2019@gmail.com







皆さま、こんにちは！ 高橋稔裕です。日頃の応援に感謝申し上げます。コロナとの上手な付き合い方(5類になったときの医療体制含め)を模索するとともに、傷ついた生活や経済にいかにつけ戻していくか、進めていく段となりました。

令和4年12月定例会では、244億円の補正予算含む議案53件を議決。令和5年2月定例会では、令和5年度2兆2,111億円、令和4年度補正予算732億円含む議案82件を議決。福祉保健医療副委員長として委員会運営や、本会議にて委員長報告するなど、参画させていただきました。

例年通り、令和5年度本予算の内容と地元加須に執行される生活基盤を支える事業について、ご報告させていただきます。

### 令和5年度予算は

前年度より427億円減ったものの、コロナ感染拡大防止対策に1,372億円投入し、依然コロナの尾を引く予算であることが特徴です。

- ①また、社会に遍在する限られた資源をいかに有効に使うか？
    - ・循環型経済(サーキュラー・エコノミー)の実現
    - ・中小企業の事業再構築支援など
  - ②その最たるものとして、引き続き社会の効率を格段に上げ、多くの県民、不慣れな方にも効率化によって新たに捻出される資源から住民サービスの向上が適う可能性あるデジタルトランスフォーメーションの推進をいかに行うか？
  - ③社会が変革し人口が急減する中、人材の確保と育成をいかに行うか？
- 上記に挑む、執行部および大野知事的意思をくみ取れる予算となりました。

### 加須を守る私として

下記のような事業や予算についてご紹介させていただき、皆さまの生活や、加須市のために活かしていけたらと考えております。

#### 地域活性化・地域福祉向上の武器となる！

戦略的シティブランディング・プロモーション：10百万円  
 新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費：27.3百万円  
 テレワーク・副業×地域ミッション事業費：7.9百万円  
 空き家対策の促進：13百万円  
 電力データを活用した空き家対策モデル事業など  
 こども食堂・フードパントリーなど子供の居場所づくり支援事業：23.4百万円

#### 通学路対策予算 1,836.9百万円

暮らしをよくする かその生活基盤整備  
→裏面を参照ください

#### 移動の自由を守る

地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業：39.2百万円

#### 水害対策予算 1,2791.9百万円

#### 農林部予算の増加 14,842百万円増加

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの促進  
340.4百万円

## とりわけ、今回は部活動の地域移行について、皆さんと共有し考えていきたいと思えます。

埼玉県議会令和4年12月定例会にて、同会派の松井弘議員がこの問題について質し、用意が進まない部分の整理をすすめております。

### 【質問】

スポーツ庁および文化庁の有識者による検討会議から、休日の部活動から段階的に地域移行していく提言が国に示された。しかし、今後の中学校教育のあるべき姿や、部活動の将来的な位置付けが明確になっていないため、市町村教育委員会は具体的にどのように取り組むべきか困惑している状況だ。円滑に進めるためには、部活動の実施主体と成り得る多様な団体を確保する必要がある。しかし現実的には、あらゆる部活動をカバーできるような団体の数や受け入れ体制が十分ではなく、さらに地域差もあると考えられる。県はどのように市町村を支援していくのか？

### 【答弁】

- 1) 指導を依頼できるスポーツ団体等がないとする市町村が2割程度あり、吹奏楽部等の文化部につきましても、十分な受け入れ体制とは言えない。
- 2) 休日指導者は、地域の団体や民間クラブの指導者、大学生等が想定されており、各種関係団体等と連携し、市町村における指導者の確保が円滑に進むよう支援する。教員が希望する場合には、市町村教育委員会から兼職兼業の許可を得ることで、指導にあたることを想定している。
- 3) 生徒が休日の活動に参加する場合、保護者が謝金、施設使用料や用具費及び保険料などを負担することとなる。市町村に対して、公共施設の優先利用や、低額での利用を認めるよう働き掛けるとともに、国に対して、経済的に困窮する家庭に対する補助等の財政的支援を要望していく。全県的なスポーツ・文化芸術団体への協力を要請するなど、受け入れ先となる団体等を確保できるよう支援していく。



高橋の意見：学校のかかり方がどのようになるか？など、十分とは言えない状況ですが、いずれにしろ、私含め各主体が少しずつ守備範囲を広げることが必要で、子どもたちの心身に豊かな人格形成の環境を決して崩さないよう取り組むことが重要と考えます。

〒347-0056 埼玉県加須市土手 2-17-15  
TEL:0480-61-7681 FAX:0480-61-7682  
mail:takahashi.kengi2019@gmail.com

# 責任ある未来を描きます

## 若い力 39才



# 埼玉県、市内の令和5年予算のご報告。引き続き日々の暮らしと救急災害時の命を守るため、生活基盤整備事業を進めます。



農地の大規模化は、農業のまち加須市の必須事項です。かその農地面積は埼玉県No.1それが草だらけになったらいかがですか？



気づきにくいところですが、幹線道路や河川の流れは、日々の暮らしと救急・災害時の命を守ります。



誰もが使える子供の居場所作り。こちら大事なインフラです。

- 子ども食堂**
- 1 すくすく広場(不動岡)
  - 2 愛の泉子ども食堂(礼羽)
  - 3 光明寺おてら食堂(加須)
  - 4 つくしの家(加須)
  - 5 北小浜みんな子ども食堂(三俣)
- 子育て応援フードパントリー**
- 1 あいせん子育て応援フードパントリー(礼羽)
  - 2 加須子育て応援フードパントリー(加須)
  - 3 加須北子育て応援フードパントリー(大和・北川)
  - 4 加須西子育て応援フードパントリー(騎西)
  - 5 ゆめさくら子育て応援フードパントリー(旗井)
  - 6 湯葉職人子育て応援フードパントリー(牛重)

南北の交通を改善し、多くの方がスムーズに新病院を利用する為に...

